リーディングDXスクール事業　【実践事例】

香川県立三木高等学校

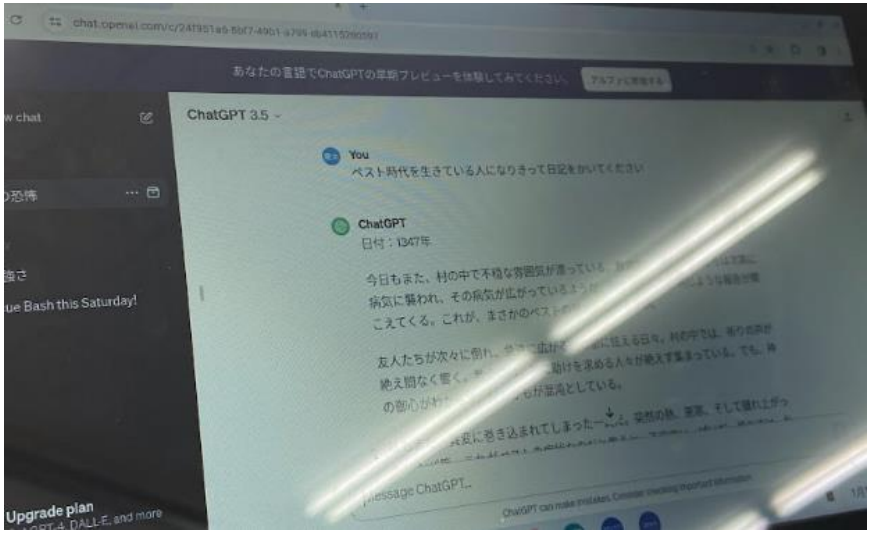
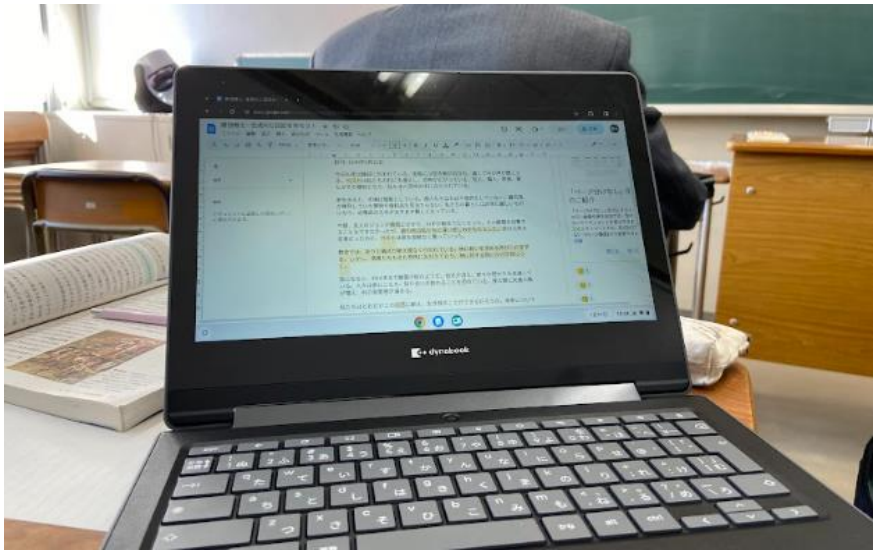
＜教育利用＞　② 生成AIのハルシネーションを学習教材に活用する

●目的

世界史探究の授業で、生徒が生成AIの作成した日記を史実に基づいたものへと修正する過程で、当時の社会状況や庶民の様子を深く理解する。

●活用の詳細

1. 黒死病の伝染の概要を教師が説明したのち、資料プリントを配布
2. ChatGPTに「14世紀のヨーロッパで生きた人々の日記」を生成するよう指示
3. 1. の資料プリントを参照しながら、生徒はChatGPTの日記のおかしい箇所を訂正
   (例)当時庶民はペストをただの病気でなく、「神罰」と捉えていたのではないか
4. ChatGPTに訂正した日記の添削を指示
5. 生徒は表現や内容の間違いに注意しながら3.~4.を繰り返し、日記を完成

●成果や課題

- 生徒が生成AIのハルシネーションを理解することができた。
- 一部の生徒は、架空の日記と資料を丁寧に比較し、当時の庶民の様子を詳細に記述できた。
- 完成度は生徒の読解力に依存する。
- 史実をいかに解釈するかという大学での学びの入口になった。